

保護者様

学校名 _____

校長名 _____

歯・口の健康診断結果と受診のおすすめ

年 組 氏名 _____

月 日 に行いました歯・口の健康診断の結果は、下記の○印のとおりです。

異常なし		健康診断の時には、特に問題は見つかりませんでした。これからもこの状態を保つために、フッ化物配合歯磨剤を用いた丁寧な歯みがき（糸ようじの使用）と規則正しい生活習慣（食生活）に注意し、また、定期的にかかりつけ歯科医の指導・管理を受けて、歯・口の健康づくりに心がけましょう。
------	--	--

経過観察	シーオー CO	穴があいた状態のむし歯にはなっていませんが、そのまま放置するとむし歯に進行する可能性が高い歯があります。フッ化物配合歯磨剤を用いた丁寧な歯みがき（糸ようじの使用）と規則正しい生活習慣（食生活）に気をつけることで状態が改善されます。間食は時間を決めて食べるようにし、糖分は控えめにしましょう。また、かかりつけ歯科医の指導や継続的な管理をおすすめします。（乳歯・永久歯）
	ジーオー GO	口の中の清掃が不十分なために、歯肉（歯ぐき）に軽度の腫れや出血がみられます。そのまま放置すると歯肉炎に進行する可能性が高くなります。丁寧な歯みがきと規則正しい生活習慣（食生活）に気をつけることで状態が改善されます。自分の歯並びにあわせて丁寧に歯垢を落とすよう心がけましょう。また、かかりつけ歯科医の指導や継続的な管理をおすすめします。
	歯垢の付着	歯みがきが不十分で歯垢（プラーク）が付着しています。各家庭での歯みがき（糸ようじの使用）に十分注意して様子を見て下さい。また、かかりつけ歯科医の指導や継続的な管理をおすすめします。
	歯列・咬合・顎関節	少し気になりますが様子を見て下さい。

下の欄に○のある人は、早めに治療や検査等を受けられることをおすすめします。

治療および相談が終わりましたら、受診結果をかかりつけ歯科医に記入していただき、学校に提出して下さい。

	疾病異常	説 明	受 診 結 果
受診をおすすめします	CO要相談 (CO-S)	直接、穴のあいた状態は確認できませんが、むし歯になっている可能性が高い歯があります。（特に歯と歯の間）精密検査が必要です。（乳歯・永久歯）	ア. 治療終了 イ. 経過観察
	むし歯 (C)	穴のあいた状態のむし歯があります。乳歯のむし歯は放置すると永久歯に悪い影響を及ぼす場合があります。（乳歯・永久歯）	ア. 治療終了 イ. 経過観察
	歯肉炎 (G)	歯の周囲に歯石が沈着し、歯肉（歯ぐき）が赤く腫れたり、出血する状態です。放置すると歯肉炎に進行して全身に悪影響を及ぼす恐れもあります。	ア. 治療終了 イ. 経過観察
	歯石の沈着	歯肉炎はありませんが、歯の周囲に歯石が沈着しています。歯石はむし歯や歯肉炎の原因になります。	ア. 治療終了
	歯列・咬合の不正	歯並び・噛み合わせに著しい乱れが認められる状態です。それにより、ものを噛むことや飲み込むこと、呼吸や発音等に影響している可能性があります。	ア. 治療開始 イ. 経過観察
	顎関節の異常	顎の関節が痛くて口が開きづらい、もしくは、痛くはないが前歯部で指二本程度しか開かない等の症状がみられます。	ア. 治療終了 イ. 経過観察
	要注意乳歯	永久歯にはえかわるべき乳歯がまだ残っている状態で、抜歯するかどうかを注意深く診断する必要のある乳歯があります。	ア. 治療終了 イ. 経過観察
	歯垢の付着	歯の表面や、はえはじめの奥歯に多量の歯垢（プラーク）が付着しています。歯垢はむし歯や歯肉炎の原因になります。	ア. 治療終了 イ. 経過観察
	その他		ア. 治療終了 イ. 経過観察

かかりつけ歯科医の先生へ

平成 年 月 日

今一度、精密検査の上、ご治療の程お願い申し上げます。
ご面倒ですが、治療、相談の結果をご記入下さい。

医療機関名

歯科医師名

㊞

保護者の皆様へのお願い

上記受診のおすすめの項目のうち、「歯列・咬合の不正」の歯列矯正治療は保険外診療になります。「歯列・咬合の不正」に○印がある場合で、治療や相談を希望されない場合は、お手数ですが、下記の保護者氏名欄に保護者名を署名され、学校に提出して下さい。

平成 年 月 日

今回は「歯列・咬合の不正」の治療・相談をみあわせませす。

保護者氏名

㊞